

# 相原駅東口のまちづくりについて

## ○検討の進捗状況

東口は、町田街道立体交差化に伴い、相原駅入口交差点が無くなることから、相原駅東口周辺は大きく交通環境が変わり、今までの交通利便性が確保できなくなるため、検討会において東口のまちづくりの方向性や新たなアクセス道路の検討を進めています。今年度は、まちづくり意向調査や個別ヒアリングなどを行い、新たなアクセス道路のルート、アクセス道路以外の都市基盤整備の必要性やまちづくりの方向性など、東口におけるまちづくりの検討を重ねてきました。

今後は、東口のまちづくりの方向性について、土地利用や道路整備等の面から検討会としての意見の取りまとめを進めていきます。

## 地区の課題

### 駅前ゾーン

- ・市民の日常生活を支える店舗が少ない。
- ・駅前広場が整備されていない。
- ・駅前として地区の拠点としての役割を果たせていない。
- ・都市基盤が整備されていないことから、土地の有効活用が図れていない。

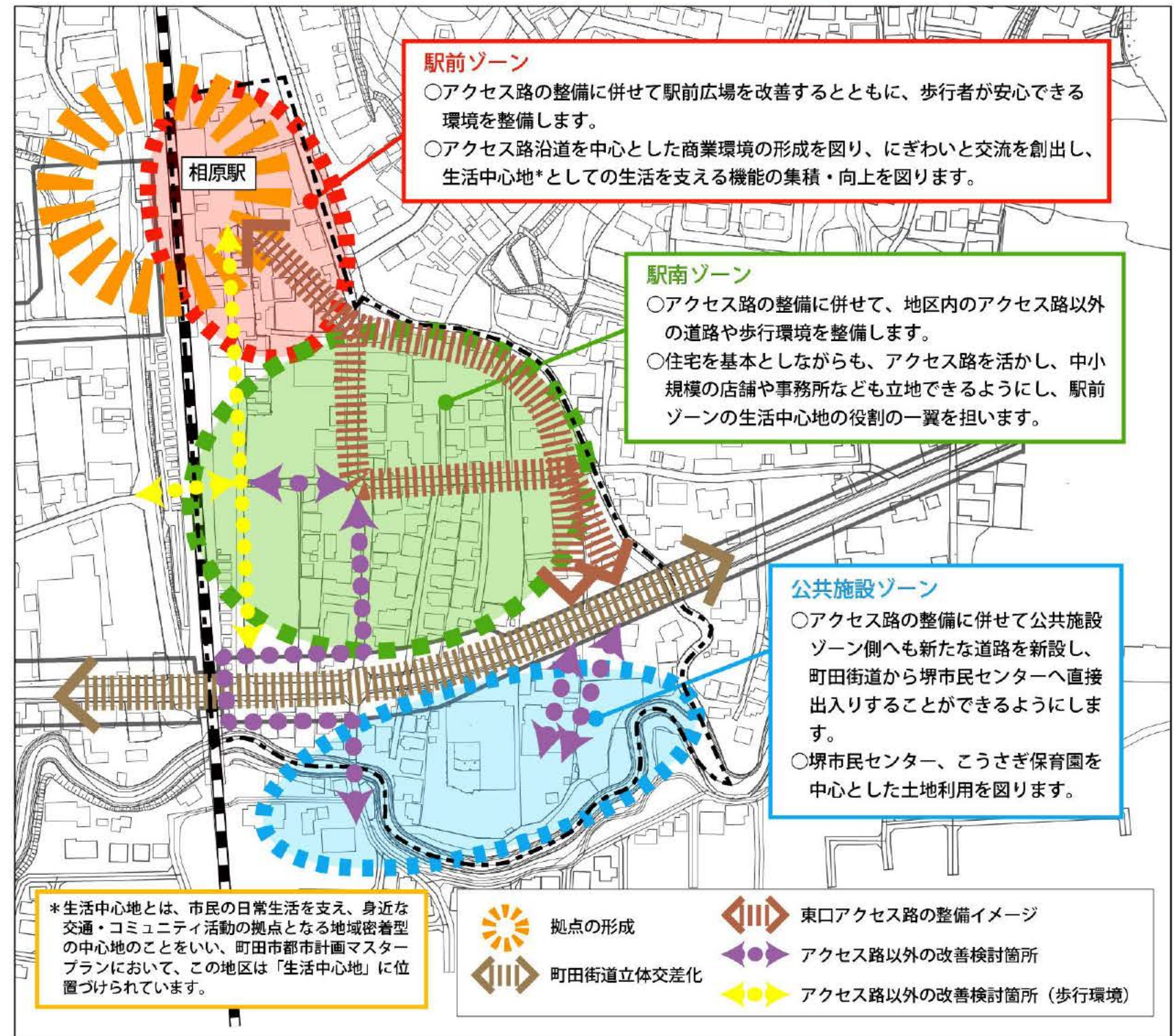
### 駅南ゾーン

- ・道路幅員が狭く、歩道が整備されていない。
- ・都市基盤が整備されていないことから、土地の有効活用が図れていない。
- ・町田街道立体交差化により、駅南ゾーンと公共施設ゾーンが分断される。

### 公共施設ゾーン

- ・町田街道立体交差化により、相原駅西口、大戸方面から堺市民センターへ直接進入できなくなる。
- ・町田街道立体交差化により、駅南ゾーンと公共施設ゾーンが分断される。
- ・吉田橋の幅員が狭く、車の相互通行が出来ない。

## 《相原駅東口におけるまちづくり方向性》(案)



# 相原駅西口のまちづくりについて

## ○検討の進捗状況

今年度は、相原らしい活気とにぎわいのあるまちづくりや地区内の道路ネットワークの形成など、地区の具体的なまちづくりと考え方などについて検討が行われ、この地区のまちの将来イメージについて取りまとめを行いました。

来年度は、さらなる具体的な検討を進め、地区の土地利用計画及び道路や公園等の整備方針の策定を目指していきます。

## 相原駅西口の将来イメージ -相原駅西口について考える会 たたき台-

市民の日常生活を支える生活中心地として、地区内の良好な居住環境の維持、保全に配慮しながら、魅力ある商業機能の集積などにより「にぎわいの拠点」を形成するために、地区を4分割して、それぞれのゾーン別に土地利用の考え方を整理します。

### 【西北ゾーン】(住宅地ゾーン)

駅近くという立地を活かし、中層住宅を主体としつつ、中小規模の店舗や事務所等と調和した良好な住環境を備えた住宅地を形成します。

③  
都市計画道路  
3・4・49  
号線沿いの  
イメージ(案)



④  
旧町田街道の  
イメージ(案)



### 【西南ゾーン】(沿道ゾーン)

幹線道路沿いは、駅近くと幹線道路沿道の特性を活かし、生活中心地の役割の一部を担い、生活を支える商業・サービス施設等による商業地を形成します。

幹線道路沿い以外は、駅近くという立地を活かし、中層住宅を主体としつつ、中小規模の店舗や事務所等と調和した良好な住環境を備えた住宅地を形成します。

### <都市基盤整備について>

整備が進められている都市計画道路や駅前広場と、地区内に現在ある道路を活かしながら、行き止まり道路を無くすとともに、現在地区内には無い南北方向の道路整備を行い、地区内の安全性を向上させるとともに道路ネットワークを形成します。また、新たな道路整備に併せて歩行空間を整備するとともに、防災機能を備えた新たな公園を設置し、誰もが使いやすく集える場所をつくりあげます。

### 【東北ゾーン】(駅前拠点ゾーン)

駅至近の立地を活かし、土地の有効利用や商業施設等による利用を図るため、適切な規模の土地の集約化や区画の整備を図り、コミュニティ機能や居住機能も備えながら、市民の暮らしを支える生活中心地にふさわしい魅力とにぎわいに資する商業、サービス施設等による商業地としての拠点を形成します。



①相原駅からみた東北ゾーンのイメージ(案)



②東北ゾーンと東南ゾーンの間イメージ(案)

### 【東南ゾーン】(商業地ゾーン)

東北ゾーンを補完する地区として、一定の土地の集約化や区画の整備を図り、市民の暮らしを支える生活中心地にふさわしい魅力とにぎわいに資する商業、サービス施設等による商業地を形成します。